



普通高等教育“十一五”国家级规划教材

总主编

彭广陆 守屋三千代

本册主编

郭胜华 姬野伴子

审订

孙宗光 阪田雪子

# 综合日语

综合日语

第一册



北京大学出版社  
PEKING UNIVERSITY PRESS



北京高等教育精品教材  
BEIJING GAODENG JIAOYU JINGPIN JIAOCAI

# 综合日语

总主编 彭广陆 [日]守屋三千代  
审 订 孙宗光 [日]阪田雪子

## 第一册

主 编 郭胜华 [日]姬野伴子  
副主编 冷丽敏 [日]押尾和美  
编 者 郭胜华 何 琳 冷丽敏  
李奇楠 彭广陆 孙佳音  
[日]押尾和美 姬野伴子  
守屋三千代



北京大学出版社  
PEKING UNIVERSITY PRESS

**图书在版编目(CIP)数据**

综合日语(第一册)/彭广陆,[日]守屋三千代总主编;郭胜华,[日]姬野伴子主编. —  
北京:北京大学出版社,2004.8

ISBN 978-7-301-07624-8

I. 综… II. ①彭…②守…③郭…④姬… III. 日语-高等学校-教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2004) 第 072137 号

**书 名:** 综合日语(第一册)

**著作责任者:** 彭广陆 [日]守屋三千代 郭胜华 [日]姬野伴子

**责任编辑:** 许耀明

**标准书号:** ISBN 978-7-301-07624-8/H·1066

**出版发行:** 北京大学出版社

**地 址:** 北京市海淀区成府路 205 号 100871

**网 址:** <http://www.pup.cn>

**电 话:** 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62765014 出版部 62754962

**电子邮箱:** [zpup@pup.pku.edu.cn](mailto:zpup@pup.pku.edu.cn)

**印 刷 者:** 北京中科印刷有限公司

**经 销 者:** 新华书店

787毫米×1092毫米 16开本 24.5印张 400千字

2004年8月第1版 2007年7月第4次印刷

**定 价:** 46.00元(附赠光盘)

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究 举报电话:010-62752024

电子邮箱: [fd@pup.pku.edu.cn](mailto:fd@pup.pku.edu.cn)



### 《综合日语》中方编委会成员

主任：彭广陆(北京大学教授)

顾问：孙宗光(原北京大学教授、原广岛女学院大学教授)

(以汉语拼音为序)

郭胜华(北京大学副教授)

何琳(首都师范大学副教授)

冷丽敏(北京师范大学副教授)

李奇楠(北京大学副教授)

孙佳音(北京语言大学讲师)

### 《综合日语》日方编委会成员

主任：守屋三千代(创价大学副教授)

顾问：阪田雪子(原东京外国语大学教授)

(以日语五十音为序)

阿部洋子(国际交流基金会日语国际中心专任讲师副主任)

今井寿枝(国际交流基金会关西国际中心日语教育专门员)

押尾和美(国际交流基金会日语国际中心专任讲师)

国松昭(东京外国语大学名誉教授、杏林大学教授)

近藤安月子(东京大学教授)

姬野伴子(埼玉大学教授)

丸山千歌(横滨国立大学副教授)

谷部弘子(东京学艺大学教授)

插图：〔日〕高村郁子

本教材编写得到日本国际交流基金会的资助,特此鸣谢!

# 前 言

随着社会的发展、科技的进步、教育观念的更新,外语教学也发生了很大的变化。纵观世界外语教学,自 20 世纪 80 年代起出现了转轨转型的大趋势,即由注重语言知识积累转变为关注语言运用能力的培养。新的教学理念需要由全新面貌的教材将其付诸实施。

近些年来,中国的日语教育事业也在迅速发展,尤其是开设日语专业的大学不断增加,对有特色、有创新的日语教科书的需求日益凸显,在这种形势下,《综合日语》应运而生了。

《综合日语》是首次由中日两国从事日语教学与日语研究的一批专家学者全面合作、共同编写的全新教材。本教材共分四册,为大学日语专业基础阶段(一、二年级)的精读教材,在编写时以《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》(教育部高等学校外语专业教学指导委员会日语组编,大连理工大学出版社,2001 年 11 月,第 1 版)为依据,实用性、系统性、知识性、趣味性并重,力图在内容和形式上均有所突破,以满足新世纪、新时期的日语教学与日语学习之需求。

本教材的目标是培养学习者综合运用日语的能力,为学习者全面掌握听、说、读、写、译诸技能打下坚实的基础,故名为《综合日语》。本教材的会话在内容上贴近学习者的实际生活,力求自然、生动,不仅强调日语知识的基本运用,而且更加关注日语的得体表达方式。在场景设计和内容编排上注重融入中日两国的文化内涵,以期使学习者在学习日语知识、增长技能的同时获得丰富的中日文化知识,从而有助于提高文化理解力,培养跨文化交际能力。本教材在编写时还照顾到日语的口语和书面语差异大这一特点,努力使学习者掌握运用不同语体的能力。

本教材没有采用传统的日语教学语法系统,而是在近些年来日本的对外日语教学中常见的语法系统的基础上,结合中国人学习日语的特点,归纳总结出了一套更加实用、更加科学的语法系统。实践证明,它是比较容易为学习者所接受的。

由于我们坚持语言知识和语言技能两者并重的设计理念,因此在编写本

## 前 言

教材的练习时,更加强调在巩固和掌握所学语言知识基础上的进一步运用和拓展。为此,我们给学习者提供了较大的空间与挑战的机会。比如,我们从日语学习的初级阶段便引入各种课堂活动练习。这些活动练习既有课堂上进行的,也有课堂外进行的,后者可以使学习者的日语学习自然延伸到课堂以外的空间,旨在培养学习者自主学习的能力。而且,活动练习既有由个人完成的,也有分小组共同完成的,后者可以使学习者在学习日语的过程中培养与人合作的精神。

完成本教材课程的学习者,一般可以达到中国大学日语专业4级的水平以及日本的日语水平测试(日本語能力試験)2级的水平。

本教材正式出版前曾在数所大学试用,又经编者精心修订,最后由北京大学出版社正式出版。本教材随书赠送录有会话、课文的CD,另有练习册和教参与之配套。

如果本教材的出版能够对中国的日语教育事业的发展起到些许的促进和推动作用,作为编者我们将感到无比欣慰。

《综合日语》编辑委员会

2004年5月5日

# 课堂用语

おはようございます。／老师好！早上好！

こんにちは。／同学们好！

ベルが鳴りました。／打铃了。

では、授業を始めます。／现在开始上课。

まず出席を取ります。／先点一下名。

名前を呼ばれたら「はい」と答えてください。／当叫到自己的名字时请答“はい”！

黒板を見てください。／请看黑板！

答えが分った人は手を挙げてください。／会的人请举手！

教科書を開いてください。／请打开书！

～ページを開いてください。／请翻开第一页！

いっしょに読んでください。／请大家一起读！

本を閉じてください。／请合上书！

ノートに書いてください。／请写在练习本上！

前に来てください。／请到前面来！

黒板に書いてください。／请写在黑板上！

テープ（C D）を聞いてください。／请听录音！

質問に答えてください。／请回答问题！

もっと大きい声で言ってください。／请再大声说！

もっとゆっくり読んでください。／请再读慢一点！

もう一度言ってください。／请再说一遍！

繰り返してください。／请重复一遍！

プリントを配ります。／（我来）发讲义。

宿題を出します。／下面留作业。

ノートを提出してください。／请交作业本！

時間になりました。／到点了。

休みましょう。／休息一下吧。

きょうの授業はここまでです。／今天的课就上到这里。

きょうはこれで終わります。／今天就到这儿吧。

さようなら。／再见。

また、あした（来週）。／明天（下周）见！

ありがとうございました。／谢谢。

# 缩略语、符号一览表

N —— 名詞（名词）

固名 —— 固有名詞（专有名词）

A —— 形容詞（形容词）

A<sub>I</sub> —— I類形容詞（I类形容词）

A<sub>II</sub> —— II類形容詞（II类形容词）

V —— 動詞（动词）

V<sub>I</sub> —— I類動詞（I类动词）

V<sub>II</sub> —— II類動詞（II类动词）

V<sub>III</sub> —— III類動詞（III类动词）

Vる —— 動詞辞書形（动词词典形）

自 —— 自動詞（自动词、不及物动词）

他 —— 他動詞（他动词、及物动词）

副 —— 副詞（副词）

連体 —— 連体詞（连体词）

感 —— 感動詞（叹词）

接 —— 接續詞（连词）

判 —— 判断詞（判断词）

助 —— 助詞（助词）

格助 —— 格助詞（格助词）

取立て助 —— 取立て助詞（凸显助词）

終助 —— 終助詞（语气助词）

接助 —— 接續助詞（接续助词）

並助 —— 並列助詞（并列助词）

引助 —— 引用助詞（引用助词）

準助 —— 準体助詞（准体助词）

S —— 文（句子）

①①②③ —— 声调符号（有两个声调者，常用者在前面）

[[ ]] —— 本书的会话、课文中未采用，但实际上使用的书写形式。

▼ 非常用汉字

▽ 非常用汉字音训



# 五十音図 (平仮名)

撥音	わ行	ら行	や行	ま行	は行	な行	た行	さ行	か行	あ行	
ん 无	<b>わ</b> 和	<b>ら</b> 良	<b>や</b> 也	<b>ま</b> 末	<b>は</b> 波	<b>な</b> 奈	<b>た</b> 太	<b>さ</b> 左	<b>か</b> 加	<b>あ</b> 安	あ段
	(ゐ) 為	<b>り</b> 利	(い)	<b>み</b> 美	<b>ひ</b> 比	<b>に</b> 仁	<b>ち</b> 知	<b>し</b> 之	<b>き</b> 幾	<b>い</b> 以	い段
	(う)	<b>る</b> 留	<b>ゆ</b> 由	<b>む</b> 武	<b>ふ</b> 不	<b>ぬ</b> 奴	<b>つ</b> 川	<b>す</b> 寸	<b>く</b> 久	<b>う</b> 宇	う段
	(ゑ) 恵	<b>れ</b> 礼	(え)	<b>め</b> 女	<b>へ</b> 部	<b>ね</b> 祢	<b>て</b> 天	<b>せ</b> 世	<b>け</b> 計	<b>え</b> 衣	え段
	<b>を</b> 遠	<b>ろ</b> 呂	<b>よ</b> 与	<b>も</b> 毛	<b>ほ</b> 保	<b>の</b> 乃	<b>と</b> 止	<b>そ</b> 曾	<b>こ</b> 己	<b>お</b> 於	お段

ぱ ば だ ざ が  
 び び ぢ じ ぎ  
 ぷ ぶ づ ず ぐ  
 ぺ べ ず ぜ げ  
 ぽ ぼ ど ぞ ごと

りや みや ひや にや ちや しや きや  
 りゆ みゆ ひゆ にゆ ちゆ しゆ きゆ  
 りよ みよ ひよ によ ちよ しよ きよ

ぴや びや ぢや じゃ ぎや  
 ぴゆ びゆ ぢゆ じゆ ぎゆ  
 ぴよ びよ ぢよ じよ ぎよ

# 五十音図（片仮名）

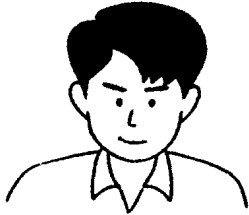
撥音	ワ行	ラ行	ヤ行	マ行	ハ行	ナ行	タ行	サ行	カ行	ア行	
ンレ	ワ和	ラ良	ヤ也	マ末	ハ八	ナ奈	タ多	サ散	カ加	ア阿	ア段
	(キ)井	リ利	(イ)	ミ三	ヒ比	ニ仁	チ千	シ之	キ幾	イ伊	イ段
	(ウ)	ル流	ユ由	ム牟	フ不	ヌ奴	ツ川	ス須	ク久	ウ宇	ウ段
	(エ)恵	レ礼	(エ)	メ女	ヘ部	ネ祢	テ天	セ世	ケ介	エ江	エ段
	ヲ乎	ロ呂	ヨ与	モ毛	ホ保	ノ乃	ト止	ソ曾	コ己	オ於	オ段

ガ　　ダ　　バ　　パ  
 ギ　　ヂ　　ビ　　ピ  
 グ　　ヅ　　ブ　　プ  
 ゲ　　デ　　ベ　　ペ  
 ゴ　　ド　　ボ　　ポ

リヤ　ミヤ　ヒヤ　ニヤ　チャ　シヤ　キヤ  
 リユ　ミユ　ヒユ　ニユ　チュ　シユ　キユ  
 リヨ　ミヨ　ヒヨ　ニヨ　チョ　シヨ　キヨ

ピヤ　ビヤ　ヂヤ　ジャ　ギヤ  
 ピユ　ビユ　ヂユ　ジュ　ギユ  
 ピヨ　ビヨ　ヂヨ　ジョ　ギヨ

# 主要出场人物



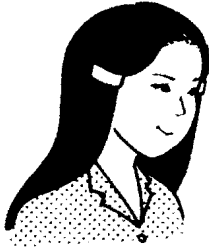
おう うしょう

王 宇翔



たかはし みほ

高橋 美穂



ちょう えんえん

趙 媛媛



すずき しんいち

鈴木 真一



り とう

李 東



やまだ かおり

山田 香織



わたなべ みさき

渡辺 美咲

# 目 次

第1課	音声 (1) .....	1
	あ行、か行、が行、さ行、ざ行、声調	
第2課	音声 (2) .....	11
	た行、だ行、な行、は行、ぱ行、ば行、長音	
第3課	音声 (3) .....	18
	ま行、や行、ら行、わ行、撥音、促音	
第4課	音声 (4) .....	27
	拗音、外来詞中常用的拗音	
第5課	新生活 .....	34
	ユニット1 はじめまして .....	35
	ユニット2 家族の写真 .....	48
	ユニット3 京華大学紹介 .....	59
第6課	キャンパス・スケジュール .....	65
	ユニット1 キャンパス .....	66
	ユニット2 スケジュール .....	77
	ユニット3 サークル情報 .....	87
第7課	日本語の勉強 .....	95
	ユニット1 日本語学習 .....	96
	ユニット2 相互学習 .....	107
	ユニット3 高橋さんの日記 .....	119

第8課	中国インターネット事情	126
ユニット1	インターネット	127
ユニット2	インターネットカフェ案内	139
ユニット3	アンケート	146
第9課	シンポジウム	153
ユニット1	シンポジウム参加	154
ユニット2	大学祭	164
ユニット3	京華大学「日本語学科だより」から	171
第10課	案内	179
ユニット1	北京案内	180
ユニット2	本場の中華料理	191
ユニット3	万里の長城	200
第11課	学生生活	206
ユニット1	宿題	207
ユニット2	パソコン	217
ユニット3	手紙(先輩へ)	225
第12課	買い物	230
ユニット1	友誼商店で	231
ユニット2	秋葉原で	245
ユニット3	電子辞書の取り扱い説明書	255
第13課	ルールとマナー	260
ユニット1	寮のルール1	261
ユニット2	寮のルール2	270
ユニット3	食事のマナー日中比較	278
第14課	京劇と歌舞伎	283
ユニット1	誘いの電話	284
ユニット2	高橋さんの夢	294
ユニット3	日本の伝統芸能：歌舞伎	306

## 目次

第15課	クリスマス・コンパ	311
ユニット1	コンパの相談	312
ユニット2	コンパ	321
ユニット3	手紙（家族へ）	330
索引	新出単語・練習用単語	333
索引	解説・音声	360
索引	解説・語彙	363
索引	解説・文法	364
索引	解説・表現	369
本教科書	语法系统简介	372
参考书目		373
编者后记		374



# 第1課 音声(1)

## 学习要点

- ① あ行
- ② か行、が行
- ③ さ行、ざ行
- ④ 声调

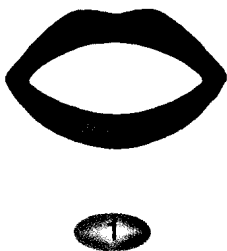
## あ行

平假名:	あ	い	う	え	お
片假名:	ア	イ	ウ	エ	オ
罗马字:	a	i	u	e	o
国际音标:	[a]	[i]	[u]	[e]	[o]

“あ行”假名所表示的音节都是单元音，在发音过程中唇形和舌位都不发生变化，在发这五个单元音时请注意唇形和舌位保持不变，不要中途滑动。下面分别对这五个假名的发音要领进行说明。

### あ

在“あ行”的五个元音中开口的程度最大，但比起汉语的“a”来，口的纵向和横向的开度都略小，舌位也略高，略靠后。



い

口の纵向开度与汉语的“i”接近，但横向开度比汉语小，不像发汉语的“i”时那样用力地向左右展开，唇与舌部肌肉较放松。



う

张口的程度在“あ行”五个元音中最小，唇形扁平，不像发汉语的“u”时嘴唇那么向前突出，舌位比汉语的“u”靠前。



え

张口程度比“あ”小，嘴唇成扁圆形，舌面隆起处在中间，舌尖贴在下齿后面，舌部肌肉较紧张。



お

口の纵向开度略大于“う”，嘴唇略收圆，舌位比汉语的“o”高且靠后，舌部肌肉较紧张，发音时注意不要中途改变唇形和舌位，不要发成双元音“ou”。



例词

あう①

あおい②

いいあう③

いう④

いえ②

うえ②

うお④

え①

おい④

おう④

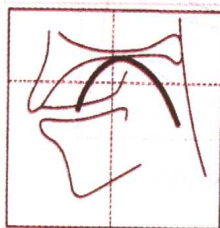
## か行

平假名:	か	き	く	け	こ
片假名:	カ	キ	ク	ケ	コ
罗马字:	ka	ki	ku	ke	ko
国际音标:	[ka]	[kʲi]	[ku]	[ke]	[ko]

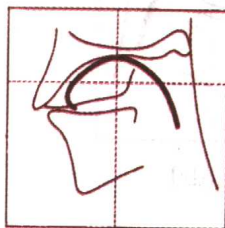
## が行

平假名:	が	ぎ	ぐ	げ	ご
片假名:	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
罗马字:	ga	gi	gu	ge	go
国际音标:	[ga]	[gʲi]	[gu]	[ge]	[go]

“か行”假名所表示的音节是由清辅音[k]分别和“あ行”的5个元音拼成的；同样，“が行”假名所表示的音节是由浊辅音[g]和“あ行”的5个元音拼成的。习惯上，把“か行”假名称为清音，把“が行”假名称为浊音。浊音的书写方式是在清音假名的右上方加浊音点“゛”。[k]和[g]都是爆破音，其发音要领是后舌隆起，顶住软腭，阻住气流，然后舌面和软腭突然分开，使气流爆发而出。二者的不同之处在于[k]是清辅音，发音时声带不振动；而[g]是浊辅音，发音时声带振动。在发“き、ぎ”时，由于受元音[i]的影响，辅音[k]、[g]发生腭化，即舌位前移，接近硬腭，形成[kʲ]和[gʲ]这两个音。“が行”假名出现在词首以外的位置时有时发成鼻浊音，其发音要领是，在发“が行”的五个假名时关闭口腔通道，使气流从鼻腔流出，然后放开口腔阻塞。



[k][g]



[kʲ][gʲ]

### 例词

かいか①	あかい②	きく②	いく②	いけ②
うけあう③	きおく②	こけ②	かう②	こい①
がか②	えがお①	ぎかい①	ぐあい②	げき①
ごご①	うごく②	かいぎ①	かげ①	こぐ①